最前線で活躍するスタッフのみなさんへ

Frontliner [フロントライナー]

7

2026 vol.53



topics

① 気象の警報が大きく変わりました

② 今月のクレーム・事故事例

日本保健衛生協会

topics ① 気象の警報が大きく変わりました

令和8年5月29日から、気象庁が発表する「防災気象情報」が新しくなりました。
ポイント①「警報・注意報の名前」に「警戒レベル」が付いて、取るべき行動が分かりやすくなりました。
ポイント②「警戒レベル4」の情報は「危険警報」として発表されます。

警戒レベルが分かりやすくなりました

これまでの防災気象情報は、「大雨警報」「土砂災害警戒情報」などといった名称で、避難のタイミングが分かりにくい面がありました。

今回の変更では、警戒レベル（1～5）が情報名とともに示され、危険度と取るべき行動が一目で分かるようになりました。

【変更例】（旧）「大雨警報」
（新）「レベル3大雨警報」
警戒レベル3（高齢者等避難）に相当

「警戒レベル4相当」は「危険警報」

避難が必要なレベル4相当の情報は「危険警報」として発表されます。これは、**「避難指示が出されたら、全員が避難する」**ことを、分かりやすく伝えるためです。

また、避難指示などが発令されていなくても、警戒レベル3～4の防災気象情報が発表されたときは、ラジオや防災アプリなどの防災情報から、自ら避難の判断をすることが必要です。

【変更例】（旧）「土砂災害警戒警報」
（新）「レベル4土砂災害危険警報」

「レベル」で判断！ 避難のタイミング

レベル1 早期注意情報	・災害への心構えを高め、今後の情報に注意しましょう。
レベル2 注意報	・ハザードマップや自治体の避難情報などで、避難経路を確認しましょう。
レベル3 警報	・避難に時間のかかる方（高齢者や病気・ケガの方など）は早めに避難しましょう。 ・上記以外の人も、必要に応じて避難の準備や自主避難しましょう。
レベル4 危険警報	・危険な場所から全員避難しましょう。 ※台風などで暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了させましょう。
レベル5 特別警報	・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。 ・今いる場所より少しでも安全な場所へ直ちに移動しましょう。

避難するのは
3～4の間に！

出典：国土交通省 気象庁「新たな防災気象情報について（令和8年～）を参考に作成。

topics ②

今月のクレーム・事故事例

2026年6月度

- クレーム件数　1 件（2026年累計　1件）
- 事 故 件 数　4 件（2026年累計 7件）

事例　浴槽の清掃後、ホースに足を取られて転倒してしまった

発生状況	浴槽の清掃後、清掃スタッフが使用したホースを所定の位置に戻そうとした際、 足元にあった別のホースに足を引っかけて転倒し、足を打撲・捻挫した。
発生原因	清掃に使用したホースとは別のホースが、足元で輪のようにたるんでいたため、 そこに足を引っかけて転倒してしまった。
対　策	● ホースによる転倒事故を防ぐために ① ホースを作業動線上に置かない ・ホースを出入口や作業者の移動経路に横断させない。 ・余ったホースは輪状にまとめ、足元に広がらないよう整理する。 ② 後退しながら作業しない ・清掃していると、ホースの位置を確認せずに方向転換したり後退したりしがちとなる。 ・移動するときは足元を確認し、方向転換して前向きに歩くようにする。 ③ ホースを踏まない ・濡れた床でホースを踏むと、ホースが転がったり滑ったりしてバランスを崩しやすい。 ・引っかけだけでなく、踏みつけによる滑りにも注意する。

